

2024年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療秘書学科）

NO	科目名	代表教員	単位数	概要
1	キャリアデザイン	池松 華奈子	2	本授業では、将来の進路を考える際に求められる「自己理解」「社会理解」に取り組む。前半の授業では、社会人のマナー・コミュニケーションの基本を学ぶ。自分の歴史を振り返り、自分の強みや改善点を明確にし、自己PRを作成する。後半の授業では、未来社会を俯瞰し、キャリアインタビューを通して、社会理解・職業理解を進める。また、なりたい自分に近づくための行動計画を作成する。個人ワークだけでなく、グループワークやグループディスカッション、プレゼンテーション、スピーチを通して理解を深める。授業全体を通して、マナーやコミュニケーションの力を伸ばす。実務経験あり…担当教員は、大学講師・キャリアコンサルタントとして若年者の就職支援・キャリア形成支援に従事した経験、また、企業の現場で、人材育成に関わった経験がある。その実務経験を活かし上記の授業を行う。
2	データサイエンス入門	川上 申之介	2	AI・データサイエンスについて学習する。社会におけるデジタルデータの扱われ方や利用のされ方に基づき、統計解析の基礎やデータの取り扱い方法を身に付ける。実務経験あり…担当教員は、教育機関・研究所において情報処理実務経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
3	情報社会論	川上 申之介	2	society5.0の社会に適応するためにはあらかじめ知識や感覚を養っておく必要があります。この授業ではICTに関する最先端の事例やそこで使われている技術を学び、社会に出ても即応することのできる事前準備としての学習を行います。実務経験あり…担当教員は、教育機関・研究所において情報処理実務経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
4	地域福祉論	今井 慶宗	2	地域福祉をめぐる重要なキーワードについて学び、地域福祉とは何かについて理解を深めます。さらに、これまでの地域福祉の歴史や地域福祉展開の方法について学び、具体的な展開過程について学びます。また、ボランティアをはじめとする地域における様々な取り組みの実際を知るとともに、その意義についても考えます。実務経験あり…担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。
5	介護概論	藤田 了	2	複雑化する生活課題に対応する制度・政策、サービス、支援を学ぶ。要介護者と介護者についての理解を深め、介護・福祉・保健・医療等の領域の専門職の支援について具体的に学び実践的な知識を習得することをめざす。また、対人援助職者としてクライアントの自立をめざした側面的なかかわりについて理解する。適宜授業の理解を深めるために、DVD等の視聴覚教材の活用、ペアワーク、グループワーク等の演習を行うので主体的に取り組むこと。実務経験あり…担当教員は、社会福祉法人等において、介護や介護支援専門員（ケアマネジャー）として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。
6	介護技術	松本 眞美	1	介護に関する基礎的知識を基に、医療現場において提供することが予測される介護技術を中心に、安全で安楽な支援方法について学びます。実務経験あり…担当教員は、介護事業所において介護福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
7	人体の構造と機能	山本 まりこ	2	体の構造と機能では、肉眼的な人体の構造とともに、顕微鏡で観察する人体の構造と生化学的ならびに生理的な変化や特徴から人体の機能について学修します。実務経験あり…大学病院ならびに総合病院での診療経験と大学医学部における教育経験を上記授業に活かすことができます。
8	薬理学	山本 まりこ	2	薬物の作用機序、薬物の体内動態について、人体の機能と疾病についての理解を基に修得する実務経験あり…担当教員は、京都大学附属病院ほか総合病院における臨床経験と医学部における医師養成教育の経験を活かし、上記の授業を行う
9	医学入門Ⅰ	山本 まりこ	2	①代表的な内科系疾患の病態と治療について修得する②頻度の高い医学用語を修得する実務経験あり…担当教員は、大学附属病院ほか総合病院における臨床経験と医学部における医師養成教育の経験を活かし、上記の授業を行う
10	診療報酬概論	西山 良子	2	保険診療のしくみ、診療報酬算定の決まり事、診療点数早見表の活用の仕方を修得する。また、各区分ごとに練習問題を実施し、内容の理解を深めていく。実務経験あり…担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
11	感染症の基礎	木村 重信	2	微生物は自然界に広く生息しており、その種類はウイルスから原虫まで多岐にわたる。ヒトは微生物との相互作用なくしては生存し得ない。しかし反面、ごく限られた微生物のみがヒトに対して病原性を発揮する。それゆえ、病原微生物についてその性状、病原因子を疾患との関わりから学ぶとともに、宿主側の感染防御機構たる免疫学について学習する。これらを通して、病因論的視点から感染症を理解する。実務経験あり…担当教員は、大阪大学歯学部、福岡歯科大学および岩手医科大学で歯科基礎医学を教授した経験があり、同時に大阪大学歯学部附属病院、福岡歯科大学附属病院において歯科医師として、岩手医科大学歯学部附属病院において感染予防対策委員長として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし授業を行う。
12	栄養学	山本 まりこ	2	①栄養学の基礎として、人体の機能と栄養、栄養素とその機能、エネルギー代謝を学修する②ライフステージ毎の栄養の特徴と問題について学修する③食品群と食品成分表について学修する④疾患別の栄養指導を学修する実務経験あり：担当教員は、大学附属病院ほか総合病院における臨床経験と大学医学部における医師養成教育に携わっており、これらの経験を活かし、上記の授業を行う
13	医療文書管理	山本 まりこ	1	医療文書を理解し、実際に作成ならびに管理を行うために①様々な種類の医療文書について理解する②様々な医療文書の作成を実際に行うについて学修する。実務経験あり：担当者は大学附属病院ならびに総合病院にて診療に従事し、医療文書についての取り扱いの経験から上記講義を行う

2024年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療秘書学科）

NO	科目名	代表教員	単位数	概要
14	医療秘書実務Ⅰ	米倉 みどり	1	・1～3回の授業では、医師による健診結果の聞き取りと健診票への記載、健診結果データの取り扱い等を体験することで、医師事務作業補助者としての業務の基礎を身につける。・4～15回の授業では、医療機関等で働くために必要なマナー・接遇を身につけ、医療機関の窓口対応や、電話対応業務について演習を通して学ぶことで、医療秘書の業務について理解を深める。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。（西山）
15	病院管理学	山本 まりこ	2	医療機関における組織・体制の概要と各部門の役割と管理について、医療機関における実際例を通して学修する。実務経験あり・・・担当者（谷口、川端、大内、小西、古野、河口、餅田、森川）は医療機関の管理に携わっており、これらの経験をもとに上記講義を実施する
16	診療報酬請求事務演習Ⅰ	西山 良子	1	診療報酬概論での知識を前提とし、各区分ごとの練習問題やカルテ例題集でレセプトを作成する事により理解を深めていく。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
17	診療報酬請求事務演習Ⅱ	西山 良子	1	診療報酬概論、診療報酬請求事務演習Ⅰの知識を前提とし、各章ごとの練習問題やカルテ見本でレセプトを作成する事により理解を深める。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
18	診療報酬請求事務演習Ⅲ	西山 良子	1	診療報酬概論、診療報酬請求事務演習Ⅰ・Ⅱの知識を前提とする。カルテ例題集を使い、多くの練習問題をこなし、内容の理解を深める。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
19	診療報酬請求事務演習Ⅳ	西山 良子	1	診療報酬概論、診療報酬請求事務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの知識を前提とする。カルテ例題集を使い、入院レセプト作成を中心に多くの練習問題をこなし、内容の理解を深める。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
20	診療報酬請求事務演習Ⅴ	西山 良子	1	診療報酬概論、診療報酬請求事務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの知識を前提とする。カルテ例題集を使い多くの練習問題をこなし、診療録の内容理解を深める。また、基本的なレセプト点検の仕方を修得する。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
21	診療報酬特論Ⅰ	西山 良子	1	医療秘書技能検定3級（第Ⅲ領域）、医事コンピュータ技能検定3級（第Ⅰ領域）の過去問題を中心に学び、模擬試験を実施し、合格を目指す。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
22	診療報酬特論Ⅱ	西山 良子	1	医療秘書技能検定2級（第Ⅲ領域）、医事コンピュータ技能検定2級（第Ⅰ領域）の過去問題を中心に学び、模擬試験を実施し、合格を目指します。また、医療秘書技能検定3級（第Ⅲ領域）、医事コンピュータ技能検定3級（第Ⅰ領域）についても受験者には合格を目指し、過去問題や模擬試験を実施します。実務経験あり・・・担当教員は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
23	診療報酬特論Ⅲ	西山 良子	1	診療報酬請求事務能力認定試験の過去問題（学科・実技）を中心に学び、模擬試験を実施し、合格を目指す。実務経験あり・・・担当教員は病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
24	調剤報酬請求事務演習	能美 智子	1	大規模な医療機関からクリニックに至るまで、ほとんどの医療機関が処方箋を発行します。みなさんも実際に処方箋を手にとって、調剤薬局で薬をもらったことがあると思います。その処方箋に書かれている用語や書き方を覚えて、自分でも記載できるようにします。特に医師事務作業補助者の仕事としても処方箋入力がありますので覚えておきたい知識です。また調剤薬局での点数算定のルールも細かく定められていますので、医科レセプトで学んだ計算方法を使いながら調剤レセプトを作成します。実務経験あり・・・400床以上の病院において入院担当としての実務経験があり、また公立病院及び大学病院のレセプトの指導を行っていることを活かして上記の授業を行います。
25	医事コンピュータ演習	西山 良子	1	1～8回の授業では、医事会計ソフトの入力方法を修得後、実践に即した学習ができるように演習問題やカルテ見本を使い実際にレセプトを作成する。入院外レセプト作成を中心に行い、また、毎回課題を提出することで、その日の授業を理解できているか確認する。実務経験あり・・・担当教員（西山）は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。9～15回の授業では、医療のIT化の流れを知り、電子カルテの必要性・重要性を認識する。外来における医療従事者と患者のやり取りから、何をカルテに記載するべきかを見分けることができるか、適切な語句で入力できるかを確認する。実務経験あり・・・担当教員（山本）は、大学附属病院や総合病院にて診療に従事し、電子カルテ作成の経験を有していることから、上記の教育にこれらの経験を活かすことができる。
26	電子カルテ演習	西山 良子	1	1～7回の授業では、医事会計ソフトの入力方法を修得後、実践に即した学習ができるように演習問題やカルテ見本を使い実際にレセプトを作成する。入院レセプト作成を中心に行い、また、毎回課題を提出することで、その日の授業を理解できているか確認する。実務経験あり・・・担当教員（西山）は、病院において医事課職員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。8～15回の授業では、外来および入院における医療従事者と患者のやり取りから、SOAPによるカルテ代行入力について取組む実務経験あり・・・担当教員（山本）は、大学附属病院ならびに総合病院での診療経験を活かし上記の授業を行う。

2024年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療秘書学科）

NO	科目名	代表教員	単位数	概要
27	包括算定演習	能美 智子	1	DPCレセプトは包括支払部分と出来高支払い部分に分かれています。包括支払部分は、ツリー図と呼ばれる疾患別に設定されている医療費の中から、正しいものを選択できるように説明します。また病院ごとに異なる倍率(係数)を使って医療費を計算してみます。出来高部分は、1年次に学んだレセプトの知識を使いながらDPCに必要な項目だけを選ぶことができるか、カルテ例題集を使いながら問題を解いてみます。春学期が終了する頃には病院実習や就職先の医療機関を想定して、患者様にDPCでの医療費を説明できるようになります。実務経験あり・・・400床以上の病院において入院担当としての実務経験があり、また公立病院及び大学病院のレセプトの指導を行っていることを活かして上記の授業を行います。
28	秘書概論	岸本 隆子	2	まず、組織の中の秘書の立場を理解し、秘書の心構えや要求される資質・能力について学ぶ。その後、秘書の仕事の仕方、仕事に必要な知識、社会常識について学ぶ。秘書のコミュニケーションの取り方や具体的な仕事の仕方についても理解を深める。実務経験あり・・・担当教員は、外資系製薬会社の秘書の経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
29	秘書実務Ⅰ	岸本 隆子	1	挨拶や返事、言葉遣い等、人間関係の基本について「知っている」から「できる」になることが重要であることを理解する。また、「できる」はやればよいのではなく「どのようにやるか」を意識することが重要で、「感じよく」実践できることを目指す。そのために、ロールプレイングを取り入れ、実際に練習の仕方を学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、外資系製薬会社の秘書の経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
30	秘書実務Ⅱ	岸本 隆子	1	秘書業務についてより実践的に学ぶ。テキスト自体が新人秘書から応用力を養うストーリーで学ぶ形式になっているので、仕事を楽しく疑似体験しながら、秘書技能を身に付けていけるように工夫する。また、11月の秘書検定でより上級の取得に向けて、問題演習を通して総復習をしていく。実務経験あり・・・担当教員は、外資系製薬会社の秘書の経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
31	医療情報と管理	堀本 江利子	2	医療事務の業務の1つとして診療情報の管理を理解していく。医療秘書学科の学生として必要と考える診療情報管理の知識を教科書から抜粋しながら学習をする。また、診療情報を取り扱う職種として、最近注目されている医師事務作業補助者業務に関しても取り上げる。授業ではパワーポイントを利用し、視覚教材からも理解を深める。実務経験あり・・・担当教員は、大学病院において診療情報管理士として診療情報の管理業務に従事しており、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
32	情報の理解と活用Ⅰ	川上 申之介	1	Microsoft Word による文書作成について学習する。Microsoft Excelによる計算処理について学習する。実務経験あり・・・担当教員は、教育機関・研究所において情報処理実務経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
33	情報の理解と活用Ⅱ	川上 申之介	1	Microsoft Word/Excel/PowerPointについて学習する。コンピュータ基礎Ⅰ、情報の理解と活用Ⅰで学んだ内容を元に、発展的な内容を取り扱う。実務経験あり・・・担当教員は、教育機関・研究所において情報処理実務経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。?
34	情報処理演習	川上 申之介	1	医療現場ではICT利活?が進んでおり、本講義を通して現場で情報機器やアプリケーションを使えるスキル、情報セキュリティに対する対応方法、プログラミングの基礎を身につけられるよう演習に取り組みます。実務経験あり・・・担当教員は、教育機関・研究所において情報処理実務経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
35	救急処置	山本 まりこ	2	日常起こり得る疾病や負傷について基本的な対処方法を学修すること、また、基本的な救命処置、応急手当についての知識と技能を修得することを目的とした救命級処置講習を講義内にて取組む実務経験あり・・・担当教員はアメリカ心臓学会認定一次救命救技術修得者(BLSプロバイダー)であり、大学附属病院や総合病院での臨床経験を活かして上記講義を行う。
36	介護保険概論	松本 眞美	2	医療や福祉の現場で出会う人々に対する理解を深めるため、介護保険制度を社会保障制度の一角としてとらえ、介護保険制度だけでなく、広く社会保障制度の概要についても学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、相談機関において社会福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
37	医療情報システム論	川上 申之介	2	医療情報とは何か、医療情報を扱うシステムの特徴、病院内の情報の流れ、医事部門に必要な情報システム、病院間連携に伴う情報の流れと必要な情報システム、これらを支える情報技術について学んでいきます。実務経験あり・・・担当教員は、教育機関・研究所において情報処理実務経験があり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。?
38	医療と福祉	山本 まりこ	2	日本の医療と福祉の現状と問題について学修する。医療・福祉制度の基本について学修する。医療・福祉現場での具体的事例について学修する。実務経験あり; 担当教員(新井 麻美)は社会福祉士の資格を有しており、社会福祉士として有している専門的知識による授業を行う。
			56	